

2017.7 初版

第一弾 プラ製品発売

架橋ポリエチレン管用ワンタッチ継手

エスロン® エスロカチット S



進化したエスロカチット、 スリムでスマートな **S**

簡単、確実、快速施工に貢献するエスロンエスロカチットに新シリーズ「エスロカチットS」が新登場。これまでのエスロカチットと同様に透明ボディで、施工状態が容易に確認可能。接続完了時にピンクのガイドが出現するとともに「カチッ」と音が鳴り、目と耳の両方で施工完了をスマートに確認できます。

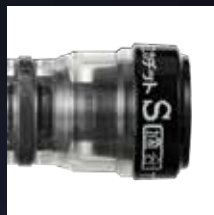
ワンタッチで簡単接続

ピンクのガイドが見えるまで挿入すれば、管との接続は完了です。エスロカチット従来品より、挿入力が半減(当社比:サイズ16A)でより接続が簡単になりました。

呼び径	エスロカチットS	エスロカチット(従来品)	率
13	80N	140N	▲43%
16	95N	190N	▲50%
20	125N	195N	▲36%

ピンクのガイドで 挿入確認

透明ボディで、施工状態が容易に確認できます。ピンクのガイドが出現すれば施工完了です。



接続前



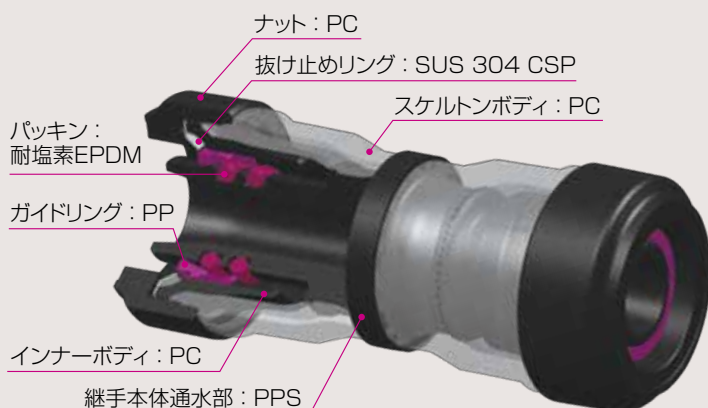
接続後

スリムでコンパクト

継手外径8~15%縮小。コンパクトで軽量化し、取り扱いやすくなりました。

呼び径	エスロカチットS	エスロカチット(従来品)	率
13	φ28.0	φ30.4	▲8%
16	φ33.0	φ39.0	▲15%
20	φ40.0	φ46.0	▲13%

エスロカチットSの構造



個別包装

- 継手ひとつひとつを個別に包装。
施工前のごみやほこりから継手を守ります。
- 包装にQRコードを印字。
製品サイトへ簡単にアクセスできます。



エスロカチット S

ブラックライトで「ピカッ」

ブラックライト(紫外線ライト)を当てるとガイドが発光しますので、暗くても簡単に施工状態が確認できます。



エスロカチットS
(挿入前)

エスロカチットS
(施工後)

エスロカチットS
(ブラックライト照射)



照射時

接続完了で「カチッ」

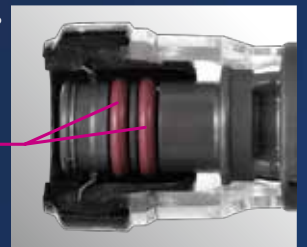
接続完了するとカチッと音でお知らせします。

「どの方向から」でも 施工確認可能

ガイドが全周見えるのでどこからでも施工確認できます。

耐塩素に優れたパッキン

エスロカチットで15年以上の実績を誇る耐塩素に優れたパッキンを2本使用。長期にわたり、安心してご使用頂けます。



パッキン

温度と最高使用圧力

管種	エスロパックス (PEX M種管PN15)
使用温度(℃)	最高使用圧力(MPa)
0~20	1.50
21~40	1.25
41~60	0.95
61~70	0.85
71~80	0.75
81~90	0.70
91~95	0.65

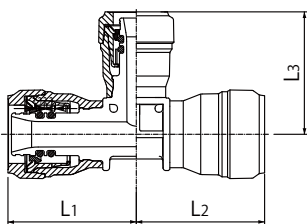
適用管種

呼び径	架橋ポリエチレン管 JIS K 6769 M管種 PN15	架橋ポリエチレン管 JIS K 6769 M管種 PN10	水道用 架橋ポリエチレン管 JIS K 6787
13	○	○	○
16	○	×	×
20	○	×	×

※適用する管種(○印)のみご使用ください。それ以外は適用しません。

エスロン®エスロカチットS ラインアップ

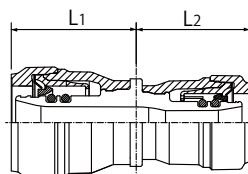
チーズ



単位：mm

品番	呼び径	L ₁	L ₂	L ₃	梱包数 (個)	価格 (円/個)
SPT13	13 13 ─┬─ 13	44.4	44.4	44.4	40(10×4)	2,490
SPT16	16 16 ─┬─ 16	49.0	49.0	49.0	24(6×4)	3,350
SPT161	13 16 ─┬─ 16	47.8	47.8	45.6	32(8×4)	3,340
SPT161T	13 16 ─┬─ 13	47.8	44.4	45.4	32(8×4)	3,110
SPT202	13 20 ─┬─ 20	51.2	51.2	47.4	24(6×4)	4,570
SPT201	16 20 ─┬─ 20	52.6	52.6	51.0	24(6×4)	4,580

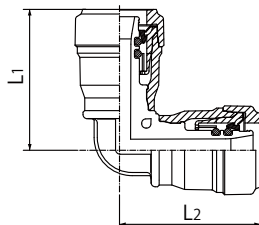
ソケット



単位：mm

品番	呼び径	L ₁	L ₂	梱包数 (個)	価格 (円/個)
SPS13	13	33.7	33.7	64(16×4)	1,660
SPS16	16	37.1	37.1	48(12×4)	2,360
SPS161	16×13	37.1	33.7	48(12×4)	2,150
SPS201	20×16	40.0	36.8	40(10×4)	3,270

エルボ



単位：mm

品番	呼び径	L ₁	L ₂	梱包数 (個)	価格 (円/個)
SPL13	13	44.4	44.4	60(15×4)	1,760
SPL16	16	49.0	49.0	40(10×4)	2,510
SPL20	20	54.2	54.2	32(8×4)	3,540

近日
発売

機器周り、ヘッダー周り
各種ラインアップ企画中



施工手順



1 管の切断

- フレキカッターまたは、塩ビカッターを用いて直角になるよう切断してください。
※エスロパックスCVの被覆材は最後までカッターで切断してください。
- ⚠ 2度切り(段切れ)・斜め切り・回し切り(らせん切れ)はしないでください。
- ⚠ のこ切りは使用しないでください。
- ⚠ 切断時の管端の扁平にご注意ください。
- ⚠ 上記の切断異常は漏水の原因となるため、再度切り直してください。



2 被覆材をめくる/保温材をずらす

- 管端をスケルトンボディの下端にあわせ、ナット先端まで被覆材をめくってください。
(目安値:全サイズ30mm程度)
- ⚠ 挿入不足を防ぐため、被覆材はしっかりとめくってください。

3 管端部を確認する

- 管端部にごみ、バリ、ささくれ、管内面のキズ等が無いことを確認し、ある場合は除去してください。
- ⚠ 面取りはしないでください。
- ⚠ 管端(内外面)、接続部に異物等があると止水パッキンに付着して漏水の原因となりますので必ず除去してください。



4 継手の確認

- 個別包装の袋から継手を取り出します。
- 継手の挿入口に、ピンクのガイドがあること、ゴミ・異物等が無いことを確認してください。また、ゴミ・異物等がある場合は必ず除去してください。
- ⚠ 止水パッキンはピンクのガイドでカバーしていますが、開梱後長時間管と接続しない場合は養生テープ等で継手の挿入口を保護してください。
- ⚠ ピンクのガイドをパイプ挿入前に継手内部へ押し込まないでください。挿入抵抗でパッキンが位置ずれをおこし、漏水するおそれがあります。



5 架橋ポリエチレン管とエスロカチットS継手の接続

- 管を真っ直ぐに奥まで一気に挿入してください。
- ⚠ 斜め挿入・回転挿入・振り曲げ挿入(こじ入れ)・挿入途中での引き抜きはしないでください。
- ⚠ 挿入不足は漏水の原因となります。必ず奥まで挿入してください。



6 接続の確認

- ピンクのガイドが見えることを確認してください。
- ⚠ ピンクのガイドが見えない場合、挿入不足により漏水の原因となります。
- ⚠ また、ガイドが斜めに見える場合も、管の斜め切りにより漏水の原因となります。
- ⚠ 必ずピンクのガイドが見える様、奥まで管を挿入してください。
※継手の再使用はできません。



7 被覆材のめくり戻し/保温材のずらし戻し

- 継手近傍の被覆材をめくり戻し、露出した管部分をおおってください。

※実際の施工に当たっては、必ず弊社営業所までお問い合わせください。

1.設計上の注意

- 給水・給湯及び冷温水配管に使用し、エア配管や薬液配管には使用しないでください。
- ▲注意 ●最高使用温度を超える異常温度が発生する熱源機器には使用しないでください。給湯管を取替えるリフォーム工事等で、古いガス給湯器等を継続使用する場合、ガス給湯器等から最高使用温度を超える異常高温が出湯し、管が破損する危険性があります。施工前に、ガス給湯器等に不具合が無いが確認の上配管工事を実施してください。

管種	エスロベックス (PEX M種管PN15)
使用温度(°C)	最高使用圧力(MPa)
0~20	1.50
21~40	1.25
41~60	0.95
61~70	0.85
71~80	0.75
81~90	0.70
91~95	0.65

- ▲注意 ●温度及び最高圧力を守って使用してください。
- 結露や凍結の可能性がある場合は必要に応じて保温の処理をしてください。
- 継手を支点に曲げるような仕様にしないでください。
- 隠蔽部での配管接続部には将来的な配管更新を考え、点検口を設けてください。
- 屋外の露出配管では、外部衝撃・紫外線劣化防止のため、保温材と遮光外面被覆などで防護してください。
- φ10で追い炊き配管する場合は、使用する継手を往復で4個以下としてください。また、配管長さの片道は、1.1m以下(往復2.2m以下)としてください。
- ▲ ●主に水道直結型スプリンクラー配管など、屋根裏等で環境温度の上昇が予想される部位の配管に使用する場合は、圧力上昇で管の破損や機器に損傷を与える場合があります。これを防止するため水道用途に適合した膨張弁、逃がし弁(設定圧 PEX :1.0MPa以下)等の設定を検討してください。
- ▲ ●エスロカチットSは、架橋ポリエチレン管用です。ポリブテン管とは接続しないでください。
- 高置タンク方式等で、マンションの最上階の場合は、十分な水圧を得られない場合がありますので、配管口径の設定については考慮してください。
- 給湯器、カランの圧力損失は機種により大きく相違しますので、必ずメーカーに確認して設計してください。

2.保管上の注意

- 炎天下や極寒の場所に放置しないで、屋内に保管してください。
- 床の上にクギ、突起物、段差が無いことを確認の上、段ボールやベニヤ板などを敷き、管に傷を付けないようにしてください。
- 保管場所に溶剤・ペンキなどを置かないでください。溶剤などが付着すると構成部品が劣化するおそれがあります。
- 保管場所では火を使用しないでください。火の粉や熱によって構成部品が劣化するおそれがあります。
- エスロンエスロベックス直管タイプの縦置き(立てかけ)保管は、管が座くづ・変形・湾曲するおそれがありますので、必ず平坦な場所で横置き保管としてください。

3.運搬上の注意

- ▲ ●ダンボール箱の投げ出しは絶対に行わないでください。衝撃によって構成部品が破壊するおそれがあります。
- 管を運搬するときは、必ず持ち上げて運搬してください。引きずり、投げ出し等は絶対しないでください。

4.管施工上の注意

- ▲ ●管を継手に挿入する前に、管端部の確認を必ず行ってください。管端部にごみ、バリ、ささくれ、扁平、管内面のキズ、スジ、へこみがないことを確認し、ある場合は除去してください。漏水の原因となります。また、ほこりや砂が付いていると漏水の危険がありますので、管の内外面を清掃してください。
- 他社の管とエスロカチットSを接続する際は、管の内面に連続的もしくは断続的にスジがないことを確認してください。ある場合は漏水の原因となります。
- エスロカチットSを水没ないしは高湿度環境では使用しないでください。
- ▲ ●管の切断は、塩ビカッターまたは、フレキカッターを用いてください。のご切りは使用しないでください。管は斜めに切断せず、直角に切断してください。2mm以上の斜め切りは挿入不足につながる等、漏水の危険があります。
- マンションなどの屋内露出配管では、工事時の衝撃や踏みつけによって、管が変形したりしますので、必ず防護してください。
- ▲ ●管(エスロベックス、エスロベックスCV、保温付エスロベックス)の屋外露出配管では紫外線劣化防止のために、エスロベックス外面、エスロベックスCV外面、保温付エスロベックスの保温材外面に紫外線を通さないように外面被覆を行ってください。また、カチットS継手部も紫外線劣化防止のために、同様の処理を行ってください。
- ▲ ●屋外露出配管では、外部衝撃防止のために外面を防護してください。
- ▲ ●結露や凍結の可能性がある場合は、必要に応じて管と継手に保温処理等の対策を行ってください。また、保温付エスロベックスの場合、保温材端部がわずかに収縮する場合がありますので、必ず管の保温材と継手部に巻く保温材との間に隙間ができないように、継ぎ目をテープで巻いて継手接続部の管が裸で露出しないようにしてください。
- ▲ ●2度切り・回し切りはしないでください。漏水の危険があります。
- ▲ ●屋内露出配管には、管の傷防止の為にエスロベックスを裸のまま使用しないでください。エスロベックスCVや保温付エスロベックス等、外面被覆されたものを使用してください。
- 可塑剤入りの被覆電線(コード)など可塑剤の入ったものは管を侵すことがありますので、直接管に触れさせないように施工してください。
- ▲注意 ●ガス給湯器等ガス機器と、周囲の配管との離隔距離については「ガス機器の設置基準及び実務指針」(財団法人日本ガス機器検査協会)に定められた基準を遵守ください。またガス給湯器の機種により緩和されることがありますので、具体的な離隔距離についてはガス事業者またはガス機器メーカーにご確認ください。
- ▲ ●管は継手を支点に曲げないでください。管・継手が破損する恐れがあります。

5. 継手施工上の注意

- 継手を落としたり踏んだりしないでください。破損したり使用不能になったりするおそれがあります。
- 一度施工すると管が外れない構造になっていますので、継手の再使用はできません。失敗しないよう慎重に施工してください。
- ⚠️ ● 管を継手に挿入する前に継手にごみ、異物が付着していないこと、ピンクのガイドがあることを確認してください。
- 管を継手に挿入する際は、ピンクのガイドが見えるまで奥まで一気に確実に挿入してください。
- 管を継手に挿入する際は、まっすぐ挿入してください。回しながら挿入すると、パッキンのねじれなど、漏水の原因となります。
- 施工者は、ピンクのガイドが見えることを確認してください。ガイドが見えない場合、挿入不足により漏水の原因となります。また、ガイドが斜めに見える場合も、管の斜め切りにより漏水の原因となります。
- ⚠️ ● 明らかに管が挿入しにくい継手が万一あった場合は、その継手の使用を中止し、販売店または弊社にご連絡ください。
- 施工管理点検時には、ピンクのガイドが見えることを確認してください。
- 継手を分解しないでください。継手を分解すると内部部材でケガをする恐れがあります。
- 土中およびコンクリート内への直接埋設は腐食、漏水の原因となりますのでできません。直接埋設する場合は、防食テープ等を使用し、有効な防食処理を施した上で埋設してください。

6. 水圧試験の注意

- ⚠️ ● 施工完了後は水圧試験を実施してください。ただし挿入不足等の施工上の不具合は、水圧ゲージの確認のみでは発見できない場合があります。水圧試験と同時に必ず継手接続部の目視・触診を行い、漏れがないこと、ピンクのガイドが見えることを確認してください。
- 万一、水圧試験で継手付近で水漏れが発見された場合は、継手接続部での漏水かどうかスケルトンボディ内部を注視してください。他部分の水が伝わり継手付近が漏れている場合もあります。
- ⚠️ 注意 ● 水圧試験を行う際には、エア抜きを行ってください。エア抜きが不完全な場合、継手が抜けたとき、身体に当たる危険性があります。
- エスロベックスは可とう性管ですので、水圧を負荷すると真円に戻ろうとする力が働き、時間の経過とともに若干の水圧低下をきたすことがありますのでご注意ください。季節・配管長によっても異なりますが、例えばエスロベックスでは0.74MPa{7.5kgf/cm²}に加圧すると1時間経過後およそ0.44~0.59MPa{4.5~6kgf/cm²}の圧力に低下し安定します。
- ⚠️ 注意 ● 水圧テストプラグ使用の際は、同梱されている「テストプラグ取扱説明書」に従って、水圧テストを行ってください。
(注:必ずエア抜きを行ってください。)

7. その他の注意点

- 管及び継手には適当な保護を行うこととし、塩ビ管用接着剤、液状シーリング剤、瞬間接着剤、殺虫剤、防腐剤(クレオソートなど)、防蟻剤、ウレタン吹き付け材(断熱材)などを直接吹き付けたり、塗ったりしないでください。また、有機溶剤が付着・接触すると、材質的に浸される恐れがありますのでご注意ください。
- コンクリートなどのアルカリ成分が直接付着すると、材質的に侵される恐れがありますのでご注意ください。
- 厨房の清掃の際など各種洗浄剤が直接付着すると、材質的に侵される恐れがありますのでご注意ください。
- エコキュートの室外機と貯湯タンクとの間の連絡管は、エコキュートメーカーの仕様書に準じた管種選定を行ってください。
- 継手は適合する管種を確認の上ご使用ください。適合外の管種と接続すると漏水の原因となります。
- 本紙記載事項以外にご使用の際は、弊社担当までお問い合わせください。

積水化学工業株式会社 環境・ライフラインカンパニー

東北支店

設備システム営業所 〒 980-6010 宮城県仙台市青葉区中央4-6-1(住友生命仙台中央ビル)
☎ 022(217)0608

東日本支店 建築営業部

東京設備システム営業所 〒 105-8450 東京都港区虎ノ門2-3-17(虎ノ門2丁目タワー)
☎ 03(5521)0641

関東設備システム営業所 〒 330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町4-333-13 (OLSビル)
☎ 048(646)0160

横浜営業所 〒 222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-6-12(日総第12ビル)
☎ 045(474)1810

静岡営業所 〒 420-0851 静岡県静岡市葵区黒金町11-7(三井生命静岡駅前ビル)
☎ 054(275)0720

甲信営業所 〒 390-0815 長野県松本市深志1-1-15 (朝日生命松本深志ビル)
☎ 0263(38)1220

東関東営業所 〒 277-0842 千葉県柏市末広町5-19(第12関口ビル)
☎ 04(7130)0010

中部支店

設備システム営業所 〒 460-0004 愛知県名古屋市中区新栄町2-9(スカイオアシス栄)
☎ 052(957)5303

西日本支店

近畿設備システム営業所 〒 530-8565 大阪府大阪市北区西天満2-4-4(堂島関電ビル)
☎ 06(6365)4503

中国設備システム営業所 〒 730-0017 広島県広島市中区鉄砲町7-18(東芝フコク生命ビル)
☎ 082(224)6251

北陸営業所 〒 920-0031 石川県金沢市広岡3-1-1(金沢パークビル)
☎ 076(231)4245

京滋営業所 〒 601-8105 京都府京都市南区上鳥羽上調子町2-2(京都研究所内)
☎ 075(662)3418

四国営業所 〒 793-0072 愛媛県西条市氷見乙880(四国積水工業株式会社内)
☎ 0897(57)9125

九州支店

設備システム営業所 〒 812-0025 福岡県福岡市博多区店屋町1-35(博多三井ビルディング2号館)
☎ 092(271)1314

積水化学北海道(株)

建築・ストック営業部 〒 001-0014 北海道札幌市北区北14条西4-2-1(ハーモネートビル)
☎ 011(737)6330

お客様相談室 【東京】03-5521-0505
【大阪】06-6365-4133

●お問い合わせは上記各営業所へ

エスロンタイムズ on the Web

<http://www.eslontimes.com>



専用の管理ページでさらに便利に!

あなただけのエスロンタイムズ

MYエスロン®

*記載価格はメーカー希望標準設計価格です。
*価格には消費税は含まれておりません。
*記載価格は2017年7月現在のものです。
*本価格表の記載事項は予告なく変更する場合があります。

不許転載

2017年 7月 初 版

エスロンエスロカチットS
カタログ

積水化学工業株式会社
建築システム事業部

ツールコード

No. 06031

2017. 7. 10TH TX